

登録コード	E2521900	開講年度	2026			
授業科目	彫塑実習				担当教員	猪瀬 昌延
英文授業名	Seminar in Sculpture				副担当	
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限～5時限前半	対象学生
講義室	教育N110		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	美術教育の重要性と可能性を理解し、基本的造形能力を養うとともに立体造形表現の魅力と基本的な指導ができるようになる。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	人体表現の基礎を学び、彫刻表現における造形要素を習得できる。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	人物モデルを使用した制作を通して、具象彫刻の基本的表現方法を学ぶとともに、人体彫刻の持つ芸術性を理解し、塑造での表現力を養う。 普段見慣れている人の顔（頭部）の中から造形としての魅力を見つけ出し、彫刻として表現することの意味を考察する。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：クロッキー 描くことについて 第3回：細部と全体感・作品としてのクロッキー 第4回：塑造 芯棒制作 第5回：粗付け（面と量） 第6回：粗付け（フォルムと構造） 第7回：中付け（全体と分部） 第8回：塑造の仕上げ 第9回：型取り 雌型制作 型の見切り 第10回：補強と厚み付け 第11回：粘土の掻き出し 第12回：雄型制作 張り込みと補強 第13回：脱型 第14回：仕上げと講評（授業アンケート） ※教育実習での授業欠席は、別途補講を行う。					
(6)成績評価の方法	課題作品の評価（80％）、授業への取り組みや学習状況20％を含め評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。					
(7)成績評価の基準	（i）授業で示した用具及び素材の加工が適切であり、（ii）素材やその技法を効果的に生かし、（iii）基礎的造形性の把握ができており、（iv）その上で造形表現における楽しさを受講生同士で共感し（v）作品に主題が表現されていることで教員を感心させるレベルであれば「卓越している」。（i）から（v）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	前授業行った制作の続きと次授業までの制作到達目標の指示に従い、制作を進めてから授業に臨むこと。各回授業内に次授業で必要となる用具や素材の準備等に関して説明を行う。					
(9)履修上の注意	制作において作業に適した服装と材料費（4,000円程度）が必要となる。 修学状況に応じて授業時間外での制作が必要となる。 課題の進捗状況に応じて、集中授業に振り替える事がある。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	研究室 北校舎N112, 連絡先 minose@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	特になし					
【参考文献】	「彫刻をつくる」建畠覚造ほか 美術出版（2400円） 「彫塑」岩野勇三 日貿出版（4000円） 「塑造への誘い」工藤健 多摩美術大学共同研究（10500円） その他作品集や技法書など随時紹介する。					